

# 本県初優勝

## 全国男子駅伝で東北勢初



初優勝のゴールテープを切る本県のアンカー相沢(左)・広島市

# 相沢(東洋大)最終区区逆転

## 4区・横田(学石)区間賞の快走

第24回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会は20日、広島市の平和記念公園前を

発着点に7区間、48キロで行われ、本県が2時間19分43秒(速報タイム)で初優勝

を飾った。東北勢の優勝は初めて。本県は、1区の小指卓也

(学法石川高3年)が4位でたすきをつなぐと、2区藤宮歩(大槻中3年)と3区の阿部弘輝(明大3年、学法石川高卒)がそれぞれ粘りの走りをみせ、7位で4区の横田俊吾(学法石川高3年)へ。横田は区間賞の走りで順位を四つ上げ3位でたすきをつなぎ、5区の松山和希(学法石川高2年)は区間4位となる力走でさらに順位を上げ、トップに躍り出た。

中学生区間の6区宮戸結紀(東和中3年)から2位でたすきを受けた7区アンカー相沢晃(東洋大3年、学法石川高卒)は先頭を走る群馬を猛追。中盤に群馬をかわし先頭に立つと、区間賞となる力走でゴールした。本県これまでの成績は、1999(平成11)年の第4回大会と2010年の第15回大会の2位が最高だった。